

◎は良いところ ▲は伸ばしたいところ

★国語について

- ◎「情報の扱い方に関する事項」の「原因と結果など情報と情報との関係」についての理解がよくできていました。
- ◎「言葉の特徴や使い方に関する事項」の「文章の種類とその特徴」についての理解がよくできていました。
- ▲「読むこと」の領域の、「目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけること」に課題が見られました。
- ▲「書くこと」の領域の「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」について課題が見られました。

複数の資料が含まれる文章を的確に読解するには、必要な語句や文、中心となる語句や文を見つけるなど目的を意識して読むことが必要です。何が書かれているのか、大事なところはどこなのかといった意識を持って普段から文章を読むように指導していきます。また、複数の資料が含まれる文章を的確に読解することで、自分の考えを書くことにもつながると考えます。ご家庭でも、本のジャンルに関わらずに、新聞も含めて、何が書かれているのかを意識しながら読むように声掛けをしていただき、文章の内容について話し合う時間を作ってみてください。



★算数について

- ◎ 正方形の意味や性質の理解ができており、テープを折ったり切ったりしたときのできる図形を正確に答えることができていました。
- ◎ 百分率で表された割合について理解ができており、示された基準量と比較量から割合が30%になるものを正確に選ぶことができていました。
- ▲ テープを2本の直線で切ってできた四角形とその特徴についての問題に課題が見られました。台形の意味や性質についての理解が不十分であると考えます。
- ▲ 「データの活用」についての領域に課題が見られました。二次元の表から、条件に合う数を読み取ることに課題がみられました。

図形については、平行四辺形や台形、ひし形などの図形の定義に目を向け、見た目ではなくて定義をもとに判断できるように指導していきます。

「データの活用」については、2つの項目が1つの表にまとまっている二次元の表の読み方について、例えば「ドッジボールが好きな人」と「リレーが好きな人」など、お楽しみ会の計画等算数以外の場面でも積極的に取り入れて、表を書いたり読み取ったりできる力を育てていきます。また、「以上、以下、未満」の数量を限定する語句の定着を図るため、ご家庭でも様々な場面で使っていただきたいと思えます。

★学習や生活について

◇よい傾向 ◆心配な傾向

《家庭や地域に関すること》

- ◇今住んでいる地域の行事に参加していると答えた児童の割合が高いです。
- ◆学校以外で読書をする答えた児童の割合が低い傾向にあります。

《学校に関すること》

- ◇学校に行くのは楽しいと答えた児童の割合が高いです。
- ◇自分と違う意見について考えるのは楽しいと答えた児童の割合が高いです。

《自分自身に関すること》

- ◇人の役に立つ人間になりたいと答えた児童の割合が高いです。
- ◆自分で計画を立てて勉強をしていると答えた児童の割合が低い傾向にあります。
- ◆平日、学校の授業以外に1時間以上勉強すると答えた児童の割合が、低い傾向にあります。
- ◆学校が休みの日に2時間以上勉強すると答えた児童の割合が、低い傾向にあります。



行事に積極的に参加したり、学校に行くことは楽しいと答える児童や人の役に立つ人間になりたいと答える児童が多かったりと、地域や学校での活動に対し、意欲的であり、さらに友達関係が良好で、素直な心が育っていると思われまます。そのことが、自分と違う意見について考えることが楽しいと答える児童の多さにつながっているようです。

また、全体的に落ち着いて学習に取り組んだり、積極的に学ぼうとしたりしています。さらに学力を伸ばすために、家庭学習の取り組み方が大切になります。テストが重なる時期やまとまった時間がとれる休日等に、主体的・計画的に取り組む姿勢が身につくように指導していきます。ご家庭でも、励ましをお願いします。

読書を通じて読解力や思考力を育てるために、親子読書や縦割り班でのブックトークなど、本に親しむ取り組みを行っています。ご家庭でも、メディアコントロールを意識してテレビやタブレットから離れて読書に親しむ時間を作るなど、ご協力をお願いします。